

公園緑地工事標準歩掛 新旧対照表

令和元年5月

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課

平成 30 年 11 月版	令和元年 5 月改定	改定理由等
<p style="text-align: center;">目 次</p>	<p style="text-align: center;">目 次</p>	
<p>I 基盤整備 1</p>	<p>I 基盤整備 1</p>	
<p style="text-align: center;">中略</p>	<p style="text-align: center;">中略</p>	
<p>II 施設整備 20</p>	<p>II 施設整備 20</p>	
<p style="text-align: center;">中略</p>	<p style="text-align: center;">中略</p>	
<p>4 園路広場整備工 29</p>	<p>4 園路広場整備工 29</p>	
<p>4-1 適用範囲 29</p>	<p>4-1 適用範囲 29</p>	
<p>4-2 コンクリート系舗装工 29</p>	<p>4-2 土系舗装工 29</p>	<p>引用元であるURの積算要領からコンクリート系舗装工の杉板による伸縮目地の歩掛が削除されたことから4-2、4-2-1を削除し、以下章番号及び頁番号を修正</p>
<p>4-2-1 公園コンクリート舗装 29</p>	<p>4-2-1 混合 29</p>	
<p>4-3 土系舗装工 30</p>	<p>4-3 レンガ・タイル系舗装工 30</p>	
<p>4-3-1 混合 30</p>	<p>4-3-1 レンガ舗装 30</p>	
<p>4-4 レンガ・タイル系舗装工 31</p>	<p>4-4 石材系舗装工 31</p>	
<p>4-4-1 レンガ舗装 31</p>	<p>4-4-1 ごろた石張舗装 31</p>	
<p>4-5 石材系舗装工 32</p>	<p>4-4-2 小補石舗装 32</p>	
<p>4-5-1 ごろた石張舗装 32</p>	<p>4-5 園路縁石工 34</p>	
<p>4-5-2 小補石舗装 33</p>	<p>4-5-1 レンガ縁石 34</p>	
<p>4-6 園路縁石工 34</p>	<p>4-5-2 石材縁石 36</p>	
<p>4-6-1 レンガ縁石 34</p>	<p style="text-align: center;">中略</p>	
<p>4-6-2 石材縁石 36</p>	<p style="text-align: center;">中略</p>	
<p style="text-align: center;">中略</p>	<p style="text-align: center;">中略</p>	
<p>7 管理施設整備工 42</p>	<p>7 施設仕上げ工 42</p>	<p>7 管理施設整備工の7-2-1フェンスは既に施工パッケージ化されており、歩掛の引用元であるURの積算要領も施工パッケージへ移行したことから削除</p> <p>7 管理施設整備工の削除に伴い、施設仕上げ工の章番号及び頁番号を修正</p>
<p>7-1 適用範囲 42</p>	<p>7-1 適用範囲 42</p>	
<p>7-2 柵工 42</p>	<p>7-2 加工仕上げ工 42</p>	
<p>7-2-1 フェンス 42</p>	<p>7-2-1 コンクリート加工仕上げ 42</p>	
<p>8 施設仕上げ工 45</p>	<p>7-3 左官仕上げ工 42</p>	
<p>8-1 適用範囲 45</p>	<p>7-3-1 化粧目地切 42</p>	
<p>8-2 加工仕上げ工 45</p>	<p>7-3-2 コンクリート仕上げ 43</p>	
<p>8-2-1 コンクリート加工仕上げ 45</p>	<p>7-3-3 モルタル仕上げ 43</p>	
<p>8-3 左官仕上げ工 45</p>	<p>7-3-4 人造石仕上げ 46</p>	
<p>8-3-1 化粧目地切 45</p>		
<p>8-3-2 コンクリート仕上げ 46</p>		
<p>8-3-3 モルタル仕上げ 46</p>		
<p>8-3-4 人造石仕上げ 49</p>		

II 施設整備

中略

4 園路広場整備工

4-1 適用範囲

本資料は、公園工事におけるコンクリート系舗装等の舗装工、園路縁石工に適用する。

4-2 コンクリート系舗装工

4-2-1 公園コンクリート舗装

(1) 施工歩掛

公園コンクリート舗装の杉板による伸縮目地施工歩掛は次表を標準とする。

表 4.1 伸縮目地（杉板材）施工歩掛表（100 m²当り）

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
杉 板	1 等 厚 9 mm	m ³	0.9	
世 話 役		人	1.0	
型 枠 工		〃	10.0	
普通作業員		〃	4.0	

表 4.2 伸縮目地板使用量（100 m²当り）

名称	形状寸法	単位	数量
杉板	1 等 厚 9 mm	m ³	0.9

(2) 単価表

伸縮目地（杉板材）100 m²当り単価表（WC693300）

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
杉 板	1 等 厚 9 mm	m ³		表 4.1
世 話 役		人		〃
型 枠 工		〃		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

II 施設整備

中略

4 園路広場整備工

4-1 適用範囲

本資料は、公園工事における土系舗装等の舗装工、園路縁石工に適用する。

4-2 コンクリート系舗装工の削除に伴い表記を修正

引用元であるURの積算要領からコンクリート系舗装工の杉板による伸縮目地の歩掛が削除されたことから4-2、4-2-1を削除

4-3 土系舗装工

4-3-1 混合

(1)適用範囲

本資料は、土舗装における舗装材の混合作業に適用する。

(2)混合用機械

混合用のトラクターの作業量(Vt)の算定は下記による。

機種：トラクター 1.0t級

$$V_t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \text{ (m}^2\text{/h)}$$

W：平均幅(m)

V：平均速度(m/min)

E：作業効率

N：作業回数

表 4.3 W・V・E・N標準数値

作業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘要
			砂 砂質土	粘性土 レキまじり 土		
混合	1.60	24.3	0.80	0.70	2	

(3)トラクター作業歩掛

表 4.4 トラクター作業歩掛 (1 m²当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
トラクター運転	1.0t級	h		1/Vt

(4)トラクター運転歩掛

表 4.5 トラクター運転歩掛 (1 時間当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽油		ℓ	2.6	
特殊作業員		人	0.2	
機械損料		h	1	
諸雑費		式	1	
計				

4-2 土系舗装工

4-2-1 混合

(1)適用範囲

本資料は、土舗装における舗装材の混合作業に適用する。

(2)混合用機械

混合用のトラクターの作業量(Vt)の算定は下記による。

機種：トラクター 1.0t級

$$V_t = \frac{60 \cdot W \cdot V \cdot E}{N} \text{ (m}^2\text{/h)}$$

W：平均幅(m)

V：平均速度(m/min)

E：作業効率

N：作業回数

表 4.1 W・V・E・N標準数値

作業	W (m)	V (m/min)	E		N	摘要
			砂 砂質土	粘性土 レキまじり 土		
混合	1.60	24.3	0.80	0.70	2	

(3)トラクター作業歩掛

表 4.2 トラクター作業歩掛 (1 m²当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
トラクター運転	1.0t級	h		1/Vt

(4)トラクター運転歩掛

表 4.3 トラクター運転歩掛 (1 時間当り)

名称	規格	単位	数量	摘要
軽油		ℓ	2.6	
特殊作業員		人	0.2	
機械損料		h	1	
諸雑費		式	1	
計				

4-2、4-2-1 の削除に伴い土系舗装以下の章番号及び表番号を修正

4-4 レンガ・タイル系舗装工

4-4-1 レンガ舗装

(1) 施工歩掛

レンガ舗装の施工歩掛は次表を標準とする。

①レンガ舗装工

表 4.6 レンガ舗装工歩掛表 (100 m²当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量		備 考
			A (平敷き)	B (小端立て敷き)	
普通レンガ	JIS 3 種 210×100× 60	個	4,338	6,817	
ブロック工		人	9.9	17.7	据付手間
普通作業員		〃	6.6	11.0	同上手伝い、 小運搬

- (注) 1. モルタル練等はのみ別途計上する。
 2. 舗装材料の小運搬は、運搬距離 20m 程度とする。
 3. なお、モルタルは施工パッケージ型積算方式標準単価とし、標準単価により難しい場合は別途積算して計上する。

(2) 単価表

レンガ舗装工 100 m²当り単価表 (WB610350)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通レンガ	JIS 3 種 210×100×60	個		表 4.6
ブロック工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(以下、章番号、表番号及び単価表摘要欄の表番号を順次修正)

中略

4-3 レンガ・タイル系舗装工

4-3-1 レンガ舗装

(1) 施工歩掛

レンガ舗装の施工歩掛は次表を標準とする。

①レンガ舗装工

表 4.4 レンガ舗装工歩掛表 (100 m²当り)

名 称	規格・形状	単位	数 量		備 考
			A (平敷き)	B (小端立て敷き)	
普通レンガ	JIS 3 種 210×100× 60	個	4,338	6,817	
ブロック工		人	9.9	17.7	据付手間
普通作業員		〃	6.6	11.0	同上手伝い、 小運搬

- (注) 1. モルタル練等はのみ別途計上する。
 2. 舗装材料の小運搬は、運搬距離 20m 程度とする。
 3. なお、モルタルは施工パッケージ型積算方式標準単価とし、標準単価により難しい場合は別途積算して計上する。

(2) 単価表

レンガ舗装工 100 m²当り単価表 (WB610350)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普通レンガ	JIS 3 種 210×100×60	個		表 4.4
ブロック工		人		〃
普通作業員		〃		〃
諸 雑 費		式	1	
計				

(以下、章番号、表番号及び単価表摘要欄の表番号を順次修正)

中略

7 管理施設整備工

7-1 適用範囲

本資料は、公園工事における高さ 2 m 以下、支柱間隔 2 m の人力建込みによる立入防止柵のうち、柵工のフェンス（金網柵）設置に適用する。

7-2 柵工

7-2-1 フェンス

(1) 施工歩掛

①基礎ブロック及び支柱設置（建込）歩掛

基礎ブロック及び支柱設置（建込）フェンス（金網柵）の設置歩掛は次表を標準とする。

表 7.1 基礎ブロック及び支柱設置（建込）歩掛表

（基礎ブロック 100 個当り、支柱 100 本当り）

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	1.9
普通作業員		〃	16.4
諸 雑 費 率		%	2

- (注) 1. 支柱設置は、支柱の設置（建込）、充填材（モルタル）の混練及び打設を含む。
 2. 諸雑費は、充填材（モルタル）の材料費であり、労務費の合計額に上表の金額を上限とする。
 3. 再利用する場合の撤去歩掛は、設置歩掛（諸雑費率は除く）の 50%とする。

②基礎ブロック設置歩掛

フェンスの基礎ブロックの設置歩掛は次表を標準とする。

表 7.2 基礎ブロック設置歩掛表 （100 個当り）

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	1.1
普通作業員		〃	11.8

- (注) 1. 上表は、基礎ブロックの設置、床掘及び埋戻を含む。
 2. 撤去する場合は、上表歩掛の 50%とする。

③支柱設置（建込み歩掛表

支柱設置（建込み）歩掛は次表を標準とする。

表 7.3 支柱設置（建込）歩掛表（100 本当り）

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	0.8
普通作業員		〃	4.6
諸 雑 費 率		%	6

7 管理施設整備工の 7-2-1 フェンスは立入防止柵として既に施工パッケージ化されており、本歩掛の引用元である UR の積算要領も施工パッケージへ移行したことから削除
 7 管理施設整備工の削除に伴い、施設仕上げ工の章番号及び表番号を修正

- (注) 1. 上表は、支柱の設置（建込）、充填材（モルタル）の混練及び打設を含む。
 2. 諸雑費は、充填材（モルタル）の材料費であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限とする。
 3. 再利用する場合の撤去歩掛は、設置歩掛（諸雑費率は除く）の 50%とする。

④フェンス（金網柵）設置歩掛

フェンス（金網柵）の設置（張立）歩掛は次表を標準とする。

表 7.4 フェンス（金網柵）設置（張立）歩掛表（100m当り）

名 称	規 格	単 位	数 量
世 話 役		人	0.6
普通作業員		〃	10.1

- (注) 1. 上表は、胴縁取付及び金網張立を含む。
 2. 再利用する場合の撤去歩掛は、設置歩掛の 50%とする。

⑤フェンス（金網柵）設置 100m当り内訳表（WC699700）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
基礎ブロック設置		個	50	①単価表
支 柱 設 置		本	50	②単価表
フェンス(金網柵)設置		m	100	③単価表
計				

(2)単価表

①基礎ブロック設置 100 個当り単価表（WC699500）

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 7.2
普通作業員		〃		〃
基礎ブロック		個	100	
諸 雑 費		式	1	
計				

②支柱設置 100 本当り単価表 (WC699300)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 7.3
普通作業員		〃		〃
支 柱		本	100	
諸 雑 費		式	1	
計				

③フェンス(金網柵)設置 100m当り単価表 (WC699400)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
世 話 役		人		表 7.4
普通作業員		〃		〃
フェンス(金網柵)		m	100	
諸 雑 費		式	1	
計				

8 施設仕上げ工

8-1 適用範囲

本資料は、公園施設の仕上げ工に伴う各種仕上げに適用する。
仕上げ工については、関連する他の工種においても適用できる。

8-2 加工仕上げ工

8-2-1 コンクリート加工仕上げ

(1)施工歩掛

コンクリート表面のはつり、つつき仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

表 8.1 コンクリート加工仕上げ歩掛表 (1㎡当り)

名 称	労 務	単 位	数 量	備 考
コンクリートはつり仕上げ	石 工	人	0.38	
コンクリートつつき仕上げ	石 工	〃	0.25	

- (注) 1. はつり仕上げ：一般に、のみ、たがねを用いてコンクリート面を削る作業をいう。切削深さはおおむね5～10mmである。
2. つつき仕上げ：主として、トンボ又はこれに類する工具を用いてコンクリート面をつつく作業をいう。切削深さはおおむね3～5mmである。

7 施設仕上げ工

7-1 適用範囲

本資料は、公園施設の仕上げ工に伴う各種仕上げに適用する。
仕上げ工については、関連する他の工種においても適用できる。

7-2 加工仕上げ工

7-2-1 コンクリート加工仕上げ

(1)施工歩掛

コンクリート表面のはつり、つつき仕上げの施工歩掛は次表を標準とする。

表 7.1 コンクリート加工仕上げ歩掛表 (1㎡当り)

名 称	労 務	単 位	数 量	備 考
コンクリートはつり仕上げ	石 工	人	0.38	
コンクリートつつき仕上げ	石 工	〃	0.25	

- (注) 1. はつり仕上げ：一般に、のみ、たがねを用いてコンクリート面を削る作業をいう。切削深さはおおむね5～10mmである。
2. つつき仕上げ：主として、トンボ又はこれに類する工具を用いてコンクリート面をつつく作業をいう。切削深さはおおむね3～5mmである。

7 管理施設整備工の削除に伴い「8 施設仕上げ工」の章番号及び表番号を修正

平成 30 年 11 月版	令和元年 5 月改定	改定理由等																																								
<p>(2)単価表 コンクリートはつり、つつき仕上げ 1 m²当り単価表 (WB610340)</p> <table border="1" data-bbox="270 258 1050 491"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 8.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下、章番号、表番号及び単価表摘要欄の表番号を順次修正)</p> <p>以下略</p> <p>【その他共通事項】 歩掛表の(注) モルタルは、「平成 30 年度 国土交通省土木工事標準積算基準書第Ⅱ編…(略)…」。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	石 工		人		表 8.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>(2)単価表 コンクリートはつり、つつき仕上げ 1 m²当り単価表 (WB610340)</p> <table border="1" data-bbox="1311 258 2092 491"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石 工</td> <td></td> <td>人</td> <td></td> <td>表 7.1</td> </tr> <tr> <td>諸 雑 費</td> <td></td> <td>式</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(以下、章番号、表番号及び単価表摘要欄の表番号を順次修正)</p> <p>以下略</p> <p>【その他共通事項】 歩掛表の(注) モルタルは、「平成 31 年度 国土交通省土木工事標準積算基準書第Ⅱ編…(略)…」。</p>	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考	石 工		人		表 7.1	諸 雑 費		式	1		計					<p>引用する積算基準書の発行年次を修正</p>
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																						
石 工		人		表 8.1																																						
諸 雑 費		式	1																																							
計																																										
名 称	規 格	単 位	数 量	備 考																																						
石 工		人		表 7.1																																						
諸 雑 費		式	1																																							
計																																										